

令和7(2025)年度

「運営に関する計画」



大阪市立御幣島小学校

令和 7 年 4 月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

「豊かな心を持ち、未来を切り拓く子どもを育てる」という学校教育目標のもと、昨年度も落ち着いた状況の中で、授業・学校行事・人権教育などの様々な活動に取り組んできた。各学年、工夫を凝らしながら教育活動を進めることで、一人一人の児童が生き生きと活躍する場面が随所に見られた。

ただ、昨年度も、校外での SNS 等のトラブルが発生している。スマホの使い方は、学校だけではなく家庭との連携も大切であり、小さいうちからの使い方の啓発が必要である。学校だけではなく、PTA、地域とも連携・協力をしていく。また、学級・学年での遊び方のルールや学校のきまりを児童、教職員で再度確認し、共通理解をしていく必要がある。「学校が楽しい」については、目標を大きく超えており、自己肯定感や自尊感情の高まる体験ができるように、さらに教育活動を工夫していく。

昨年度は、「自分の考えをもち、主体的に学ぶ子どもの育成～読み取る力を身につけ言語活動に活かす～」とし、研究に取り組んだ。特に、「読み取る力」に重点をおいたことで、小学校学力経年調査の結果からも、国語科においては一定の成果が見られた。だが、算数科では、基礎、活用ともに課題が見られ、今年度は算数科の指導にも力を注いでいく。

デジタルドリル等の一人一台端末の活用や授業でのデジタル教科書の活用は年々進んでいる。さらに、タブレットの持ち帰りや休み時間の使用方法など、学校全体でのルールの共通理解を進めながら授業の対応を進めていかなければならない。

今年度も、いじめに対する一人一人の認識を深めつつ共通理解を図っていけるように、人権教育を中心に考えながら、丁寧で粘り強い対応を重ねていく。さらに、学力だけでなく体力に関しても更なる向上を図っていく。また、教員の働き方改革についても、様々な取組の中で教育の質とのバランスを図りながら、教育活動を進めていく。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

○令和 7 年度小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合 100%をめざす。

【昨年度 83.0%】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和 7 年度末の校内調査における「学校・家庭で学習する習慣が身についている」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える保護者の割合を 90%以上にする。

【昨年度 83.0%】

○令和 7 年度小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 66%以上にする。

【昨年度 72.1%】

【学びを支える教育環境の充実】

○令和 7 年度末の校内調査の「日々の学校生活の中で、学習者用端末を活用している」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を 100%にする。

【昨年度 86.5%】

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 85%以上にする。 【昨年度 83.0%】
- 本市調査における「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を 75.4%にする。 【昨年度 75.3%】
- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 89.7%以上にする。 【昨年度 89.6%】
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 81.7%以上にする。 【昨年度 81.6%】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 45%以上にする。 【昨年度 44.0%】
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対大阪市比を、同一母集団において経年に比較し、いずれの学年も前年度より 0.02 ポイント向上させる。
【昨年度：国 4 年 1.02・5 年 1.00・6 年 1.06、算 4 年 1.02・5 年 0.98・6 年 1.00】
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 72.2%以上にする。 【昨年度 72.1%】
- 校内調査における「学級の友達と話し合う活動を通じて、分かったことや気づいたことがありますか」に対して、肯定的な「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と回答する児童の割合を 90%以上にする。 【昨年度 89.9%】

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等 I C T 活用が適さない日数を除く〕 【昨年度 27.3%】
- 毎週 1 日以上、ゆとりの日を設定する。夏季・冬季休業期間中の学校閉庁日を 3 日以上設定する。 【昨年度 3 日以上設定】
- 年度末の教職員アンケートの「校内研修が充実していたと思うか」の項目について肯定的に答える教職員の割合を 90.6%にする。 【昨年度 90.5%】
- 学習者用端末で、児童が「心の天気」「オンライン授業」「相談機能」「デジタルドリル」等の活用を併せて一日 1 回以上行うようにする。 【昨年度 1 回以上実施】
- 教職員の資質向上をめざし、授業研究を含む各種校内研修を月平均 2 回以上行う。 【昨年度月平均 2 回以上行実施】
- 教室の環境整備の目標として、児童の身長にあった使いやすい高さになるよう、年 2 回の調査を行い、適切な児童机・椅子を配備する。 【昨年度年 2 回実施】

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立御幣島小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 85%以上にする。 【昨年度 83.0%】</p> <p>○本市調査における「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的な回答する児童の割合を 93.2%以上にする。</p> <p>【昨年度 93.2%】</p> <p>○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 89.7%以上にする。 【昨年度 89.6%】</p> <p>○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 81.7%以上にする。 【昨年度 81.6%】</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>○いじめ〇や不登校〇をめざして、年間を通じて、みんな遊びなどの学級活動を進めることにより、仲間づくりを進める。</p> <p>○話し合いや教え合いなどの協同的な学習活動を進めることにより、支え合える集団づくりを進める。</p>	
<p>指標</p> <p>◇校内調査における「困っている子がいたら、話を聞いたり助けたりする。」の項目について、「する」「どちらかといえばする」と答える児童の割合を 85%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>○携帯電話の正しい使い方について、理解する場や研修会を行う。</p>	
<p>指標</p> <p>◇携帯電話の正しい使い方を、理解する場や機会を複数回設ける。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向2、豊かな心の育成】</p> <p>○教育活動全体を通じ、発達段階に応じた系統的な人権教育の実践により、児童が様々な人権課題に対する正しい理解と認識を深め、日常生活の中で自他の生命と尊厳を互いに尊重しあう態度を育む。また、体験的な活動を積極的に取り入れ、心豊かに学ぶ児童を育成する。</p>	
<p>指標</p> <p>◇人権教育年間指導計画を作成し、学期に1つ重点教材を設定し、学年ごとに取り組んだ実践の交流を行う。</p> <p>◇ゲストティーチャーを招いた体験的な人権教育に各学年1回以上取り組む。</p> <p>◇各学年で、体験的な学習を積極的に取り入れ、豊かな心を育成する。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立御幣島小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を45%以上にする。 【今年度 44.0%】</p> <p>○小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対大阪市比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.02ポイント向上させる。 【昨年度：国4年1.02・5年1.00・6年1.06、算4年1.02・5年0.98・6年1.00】</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童72.2%以上にする。 【昨年度 72.1%】</p> <p>○校内調査における「学級の友達と話し合う活動を通じて、分かったことや気づいたことがありますか」に対して、肯定的な「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と回答する児童の割合を90%以上にする。 【今年度 89.9%】</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4、誰一人残さない学力の向上】</p> <p>○新学習指導要領に基づき、各教科の年間指導計画を立て、教材研究を進めていく。</p> <p>○基礎基本の習得に重点を置きつつ児童間での意見の交流の場を多く設定し多様な班活動やペア活動等での話し合う活動を積極的に取り入れた授業を工夫して実施する。</p>	
<p>指標</p> <p>◇校内調査における「学級の友達と話し合う活動を通じて、分かったことや気づいたことがありますか」に対して、肯定的な「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と回答する児童の割合を75%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向4、誰一人残さない学力の向上】</p> <p>○紙媒体のドリルと並行して、デジタルドリルの活用も進め、自ら進んで学習課題に取り組む児童を育てる。</p>	
<p>指標</p> <p>◇年度末の校内調査における「学校・家庭で自分から進んで学習している」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と肯定的に答える児童の割合を80%以上にする。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向5、健やかな体の育成】</p> <p>○年間指導計画をもとに、運動する楽しさや喜びを味わうことができる体育科の授業作りを目指す。</p>	
<p>指標</p> <p>◇小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きですか」に対して、肯定的な「好き(どちらかといえば、好き)」と回答する児童の割合を80%以上にする。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立御幣島小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】	
○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕	【昨年度27.3%】
○毎週1日以上、ゆとりの日を設定する。夏季・冬季休業期間中の学校閉庁日を3日以上設定する。	【昨年度3日以上設定】
○年度末の教職員アンケートの「校内研修が充実していたと思うか」の項目について、肯定的に答える教職員の割合を90.6%以上にする。	【昨年度90.5%】
○学習者用端末で、児童が「心の天気」「オンライン授業」「相談機能」「デジタルドリル」等の活用を併せて一日1回以上行うようにする。	【昨年度1回以上実施】
○教職員の資質向上をめざし、授業研究を含む各種校内研修を月平均2回以上行う。	【昨年度月平均2回以上行実施】
○教室の環境整備の目標として、児童の身長にあつた使いやすい高さになるよう、年2回の調査を行い、適切な児童机・椅子を配備する。	【昨年度年2回実施】

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向6、教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】 ○児童用タブレット端末を学校生活や家庭生活に広く浸透させ、活用できるようにする。	
指標 ◇学習者用端末で、児童が「心の天気」「オンライン授業」「相談機能」「デジタルドリル」等の活用を行うようにする。 ◇年度末の校内調査の「日々の学校生活の中で、学習者用端末を活用している」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を85%以上にする。	
取組内容②【基本的な方向7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ○教職員が過ごし易い職場環境の充実に努め資質向上を図れる研修の機会を保障する。	
指標 ◇毎週1日以上「ゆとりの日」を設定する。 ◇課業中の会議、研修等がない日を年平均35%以上にする。 ◇会議等の資料をSKIPで配信し、学年で決議が可能な項目については事前に話し合っておくことで、会議等の実施時間1時間以内を80%以上にする。 ◇教職員の資質向上をめざし、校内研修を月平均2回以上行う。	
取組内容③【基本的な方向8 生涯学習の支援】 ○生涯にわたり意欲をもって学習に取り組む児童を育成することをめざし、教室等の環境を整える。	
指標 ◇年2回の机・椅子調査を行い、児童の成長に合わせた適切な児童机・椅子を配備する。	

年度目標の達成状況取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点